

授業科目	神経障害理学療法学	3 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	佐々木健史 (保健医療学研究棟 E406 号) e-mail : t-sasaki@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	菅原和広、田代英之、(山本昌明)		
概要	末梢神経障害、脊髄損傷、脳卒中、基底核障害、小脳障害などの神経障害によって生じるさまざまな病態の詳細な理解、および神経科学に基づいた神経障害に対する臨床的推論について演習する。また、神経病変によって起こる ICF 構成要素間の相互作用に基づいた評価プロセス、および理学療法治療を学習する。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象疾患に関する病因、および病態を説明できる。 2. 対象疾患の病態が生活機能に与える影響を説明できる。 3. 対象疾患に応じて、適切な検査を選択し、評価を実施できる。 4. 評価の結果に基づいて、的確な治療計画を立案できる。 5. 治療計画に基づいて実施する治療方法を説明できる。 		
関連科目	リハビリテーション医学・身体適応学・神経障害理学療法評価学・神経内科学・日常生活活動学		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	小テスト	20%	
	試験	80%	
教科書	①吉尾雅春他 [2018 年] 「標準理学療法学 専門分野 神経理学療法学(第2版)」 医学書院		
参考書	①原寛美他 [2019 年] 「脳卒中理学療法の理論と技術(第3版)」 メジカルビュー社		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	中枢神経系の構造と機能 神経ネットワークと高次脳機能障害	事前:解剖学・生理学の復習	講義	佐々木
2	脳卒中の病態とリスク管理 脳画像と各種経路の把握	事前:病態に関する復習	〃	〃
3	脳卒中の障害構造と回復メカニズム	事前:病態に関する復習	〃	〃
4	中枢神経障害に対する理学療法評価	事前:神経障害理学療法評価学の復習	〃	〃
5	脊髄損傷の病態と検査	事前:神経障害理学療法評価学の復習	講義	(山本)
6	脊髄損傷の評価(リーズニング)	事前:病態に関する復習	講義・演習	〃
7	脳卒中の病態と検査	事前:神経障害理学療法評価学の復習	講義	佐々木・菅原・田代
8	脳卒中の評価(リーズニング)	事前:病態に関する復習	講義・演習	〃
9	脳卒中の治療立案(ケーススタディ)	事前:評価結果のまとめ	〃	〃

10	基底核障害・小脳障害の病態と検査	事前:神経障害理学療法評価学の復習	講義	〃
11	基底核障害・小脳障害の評価(リーズニング)	事前:病態に関する復習	講義・演習	〃
12	基底核障害・小脳障害の治療立案(ケーススタディ)	事前:評価結果のまとめ	〃	〃
13	神経筋疾患の病態と検査	事前:神経障害理学療法評価学の復習	講義	〃
14	神経筋疾患の評価(リーズニング)	事前:病態に関する復習	講義・演習	〃
15	神経筋疾患の治療立案(ケーススタディ)	事前:評価結果のまとめ	〃	〃